

リウマチセンターだより

『第3回獨協リウマチセミナー行われる』

10月16日(木)臨床棟10階大会議室で第3回獨協リウマチセミナーを開催しました。玉井センター長の開会の言葉の後に、当院リウマチセンター主任の福田敏子より「リウマチケアナースの最新トピックス」、その後上都賀総合病院リウマチ膠原病内科部長花岡亮輔先生より「関節リウマチ～関節予後から機能予後へ～」について講演がありました。

福田主任の講演のなかでセルフイメージについての話がとても勉強になりました。実際の診療で患者さんと距離感を感じる時に、セルフイメージがどういう状態なのか、考えながらアプローチしていくことができそうです。

花岡先生の講演では、関節リウマチの診療では関節破壊のみならず、生命予後も考えながら診療する必要があるということが分かりました。リウマチは全身性の疾患です。きめ細やかな診療の重要性を感じました。

当日はさまざまな研究会が並行して行われておりましたが、57人に出席いただきました。お忙しい中、足を運んでいただきありがとうございました。

来年も講演会を企画しますので、よろしく願いいたします。

前澤 玲華

～リウマチQandA～

Q:ステロイドホルモン（プレドニン）について教えてください。

A: 膠原病・関節リウマチの治療で使用されます。炎症を抑える効果と免疫を抑える効果があります。1948年にはじめて関節リウマチの少女に使用され、その効果が実証されました。しかし、骨粗鬆症や糖尿などの副作用が起こるため、その使用には慎重な経過観察が必要です。急に中止すると離脱症状がおこる可能性もあります。できるだけ副作用が少なく済むように最善の内服方法を検討していきましょう。

胃腸炎・インフルエンザの流行期となりました。うがい・手洗いを行い、感染予防に努めましょう。発熱を認めた場合は早めにかかりつけ医にご相談ください。

